

三重

東海

デジタル版
ニュースはこちら

津総局
〒514-0032
津市中央9-2
TEL 059・228・4141
FAX 059・224・4817
mie.opi@asahi.com
県内取材網
四日市支局／伊勢支局
／伊賀支局

購読・配達のご用は
0120・33・0843(7～21時)
紙面へのご質問・ご意見は
0570・05・7616
広告のご用は
059・351・1171

きょうの天気		6-12時 降水確率 12-18時	
10	四日市	20	20
10	伊賀上野	20	20
10	津	20	20
20	鳥羽	40	40
四日市 伊賀上野 津 鳥羽			
南東	東	津	鳥羽
湿度 50%	波 1.0m	最高 最低	最高 最低
気 温 29度	29度	19度	16度
四日市 伊賀上野	27度	20度	20度
津	27度	20度	20度
鳥羽	27度	20度	20度
あす			
四日市 伊賀上野	南東	東	鳥羽
湿度 60%	波 1.0m	最高 最低	最高 最低
9月23日(日)	5.42	17.6	18.18
日出 入出	6.48	18.18	
日 月			
月 齢 1.3			



不登校の現場について語る黒宮久美さん(右)、武藤亮磨さん(中)、山口典宏さん＝菰野町

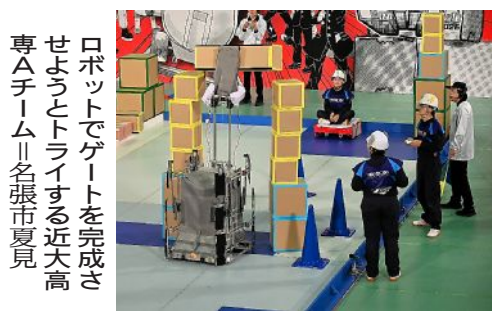
社会の受け入れ方 菰野で座談会

「不登校キッズの今を知る」がテーマの座談会は、同町でフリースクール「こもどーナツ」を開いている黒宮久美さん、四日市メリーノール学院中・高校通信制教員の武藤亮磨さん、かもしかビレッジの山口典宏さんが登壇。同町でも小・中学生の不登校が増えている実態を説明し、不登校の子どもの現状を伝えている。なせ不登校になるのかという問いに、黒宮さんは「不登校にはパターン(類型)はなく、一人ひとりの事情は違う」、武藤さんは「学校が持つ空気

子どもの不登校 向き合う現場

子どもの学びの多様性を考えるレクチャー「不登校を『特別』にしない社会へ こものキッズの未来を拓く」が21日、菰野町の「かもしかビレッジ」であった。

「不登校キッズの今を知る」がテーマの座談会は、同町でフリースクール「こもどーナツ」を開いている黒宮久美さん、四日市メリーノール学院中・高校通信制教員の武藤亮磨さん、かもしかビレッジの山口典宏さんが登壇。同町でも小・中学生の不登校が増えている実態を説明し、不登校の子どもの現状を伝えている。なせ不登校になるのかという問いに、黒宮さんは「不登校にはパターン(類型)はなく、一人ひとりの事情は違う」、武藤さんは「学校が持つ空気



ロボットでゲートを開く近大高専チーム

近大高専 ロボコンで腕披露 名張で近畿地区大会V届かず

「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2025近畿地区大会」(全国高等専門学校)が21日、名張市のベルウィングアリーナ(市総合体育館)で開かれ、近畿各地から集まった高専生が自作のロボットで競い合った。今年度の課題は、3分間の時間内にロボットで様

「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2025近畿地区大会」(全国高等専門学校)が21日、名張市のベルウィングアリーナ(市総合体育館)で開かれ、近畿各地から集まった高専生が自作のロボットで競い合った。今年度の課題は、3分間の時間内にロボットで様

96歳の新聞ちぎり絵 原画展実現

ちぎった新聞紙で創作された木村セツさんの原画「オクラ」(左)「お好み焼き」(右)を津市白山町



全国の注目集めた会場で県内初開催

「新聞ちぎり絵 原画展」を企画した園佳士さん(左)、典子さん夫妻



木村セツさんの「新聞ちぎり絵 原画展」が開かれていた「やまぢょう」



木村セツさんの「新聞ちぎり絵 原画展」が開かれていた「やまぢょう」

木村セツさんの「新聞ちぎり絵 原画展」が開かれていた「やまぢょう」

原画展には、食べ物や生き物などを鉛筆で下書きし、細かくちぎった新聞紙をピンセットを使って位置を微調整しながら重ねていった作品20点が並ぶ。また、木村さんの書籍のほか、作品がプリントされた絵はがきやカバン、バッグなども販売されている。

会場は、1870(明治3)年に雑貨店として創業し、現在は衣料品や贈答品などを扱う老舗「やまぢょう」の2階。54畳分もある広大なスペースで、かつては呉服の展示会場として使われていた。

ただ、地元は高齢者が多く、「残念だけど、甲子園までは応援に行けない」という声も聞かされた。そこで佳士さんは急ぎ、プロジェクトやスクリーンを借り、ホールで即席のパブリックビューイング(PV)を開いた。試合当日は住民ら約80人が集まり、鈴を付けたハンガーを振りながら応援した。全国ニュースになり、老舗の名も全国に発信された。

7年前 白山高甲子園出場PV開いた老舗

が、20年はと前からは在庫品の倉庫だった。5代目店主の園佳士さん(47)がこれだけ広い場所が有効活用されていないのはもったいない」と思い、2017年に住民が自由に使えるイベントホールに改装した。量やカーペットに張り替えて、土壁を残したホールは「ウキウキ広場」と名付けられ、今では月に10日ほど、地元民の注目を浴びている。

徳島の阿波踊り ■ 秋田のなまはげ太鼓 ■ 那覇のエイサー

日本代表する三つの祭り出演

「津まつり」来月10～12日

津市の秋の風物詩「津まつり」が10月10～12日、市中心街の大門・丸之内地区を中心に開かれる。54団体が参加する目玉の大パレードは、12日午前9時から。今回は初めて、徳島市の阿波踊りなど日本を代表する三つの祭りの団体が加わり、大パレードを盛り上げる。

活動を通じてメンバー同士の交流があり、「各地の祭りを間近に見てもらおう」と出演を引き受けた。大パレードのほか、フェニクス通りに設けられるJC会場で、12日午後3時から1、2回ずつ演舞を披露する。

津まつりは、津八幡宮の祭礼が起源といい、今回で390年目。10日夕方に前夜祭があり、11と12の両日には安濃津よさこい、11日午後7



阿波踊り＝8月、徳島市

時からは市民総おどりがあがる。市は3日間で、のべ約30万人の人出を見込む。大パレードの和船山車「安濃津丸」の一日船長は今回、タレントの森香澄さん(30)が務める。

きょうの番組 22日

ザ・六場ツアー
★NHKBS 後3・34
栃木県佐野市で、U字工事も知らないようなひんやり穴場を探る。「二つ目は無量で洞窟内は20度以下で快適だが、なぜか虫もやらず穴場が連発する。二つ目は道の駅で人気の葉山ショウガが登場。三つ目はお化け屋敷で、佐野市ではお化け屋敷には欠かせないお化けものが製造されている。こどもネタクリニック
★Eテレ 夜7・00
舞台は、子供にうけたい芸人たちが訪れる少し変わったクリニック。芸人たちは「こどもネタクリ」のアドバイス通りにネタをやります。マリカは、子供は大きなリアクションが好きだから、そういう一発ギャグを入れてと言われる。ラブレターズは、怒濤のアドバンスに納得感でネタが大きく変身する。
★フジ系 夜10・00
生活指導と演劇部顧問と「視聴者」を訴えるという山田(平石紙)に、健治(磯村勇斗)は裁判所が仲
月曜から夜ふかし
★日テレ系 夜10・00
「猛暑なので早朝にインタビューしてみた件」では、気温の低い深夜から早朝にインタビューを行う「素朴な疑問を調査した件」は、高級住宅街に住む大は餅も高級なのかなど、素朴な疑問を調査する。視聴者の投稿を聞いて「視聴者」のお悩みを聞いて「視聴者」は、投稿メールや街頭ロケで番組に寄せら



全国の名店を知るトラックドライバー。広い駐車場、100種類以上のボリューミー満点メニューなど「ドラパーの聖地」と呼ばれる食堂を教えてください。一押された悩みを聞く。司会は村上信五、マツコデラックス。
★フュー・グッドメン(NHKBS 後1・00)
92年。トム・クルーズ、ジャック・ニコルソン。キューバの米海軍基地内で海兵隊員が殺され、容疑者として2人の兵士が起訴された。弁護団は、事件に海軍の暴力の制裁が絡んでいることを突き止める。だが、真相究明を恐れた基地の司令官の陰謀により、調査は暗礁に乗り上げる。ロブ・ライナー監督。(字幕)

報道ステーション
★朝日系 夜9・54
米大リーグ・ナ・リーグ西地区はドジャースとパドレスの優勝争いが続いている。ドジャースは10連戦の最終戦。今シーズンの本拠地最後の戦い。ジャイアンツ相手に勝利で終わることができれば、負けられない試合で、大谷翔平のバットに期待がかかる。

「ぶしゅー」積み上げ10年



©新久千映/コアミックス ©2025「ワカコ酒」製作委員会

「ぶしゅー」積み上げ10年

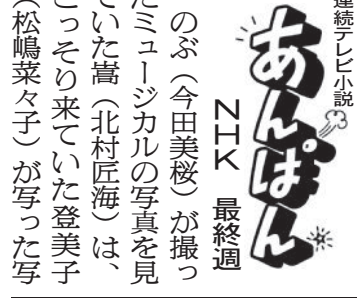
2015年1月のシーズン1放送から今年で10年。主演の武田梨奈(34)は「ワカコ酒」を目標として積み上げてきた。ついに9.感謝の気持ちで「ぶしゅー」と話す。シリーズの撮影を通じて、どんなお酒が好きになっていったという武田。「ワカコ酒」は自分の一部のような作品で、ワカコのせりふや姿勢に救われる瞬間がたくさんあったと振り返る。

「20代前半の頃は、仕事がうまくいかなかったり、プライベートで苦しいことがあったりしたときに『お酒を飲んで忘れたい』『みたいな気持ちがあった。でもワカコは、お酒を飲むことで自分を肯定できる人。おいしいお酒で幸せを感じ、『ま

フォーカスオン!

ワカコ酒 Season9

BSテレ東 水曜深夜0時



©新久千映/コアミックス ©2025「ワカコ酒」製作委員会

「ぶしゅー」積み上げ10年

「ぶしゅー」積み上げ10年。武田梨奈(34)は「ワカコ酒」を目標として積み上げてきた。ついに9.感謝の気持ちで「ぶしゅー」と話す。シリーズの撮影を通じて、どんなお酒が好きになっていったという武田。「ワカコ酒」は自分の一部のような作品で、ワカコのせりふや姿勢に救われる瞬間がたくさんあったと振り返る。

「20代前半の頃は、仕事がうまくいかなかったり、プライベートで苦しいことがあったりしたときに『お酒を飲んで忘れたい』『みたいな気持ちがあった。でもワカコは、お酒を飲むことで自分を肯定できる人。おいしいお酒で幸せを感じ、『ま